

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號一第 卷七第

行發日一月七年七正大

論說

剩餘價格ノ成立……………法學博士 河上肇

相續稅批評ノ重點(一)……………法學博士 神戶正雄

扶養義務力救貧籍力……………法學博士 財部靜治

さんぢかりずむ概論(一)……………法學士 河田嗣郎

黃宗義ノ政治經濟思想(一)……………法學士 小島祐馬

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(一)……………法學博士 田島錦治

分業ヲ論ジテ福田博士ノ教ヲ請フ(一、完)……………文學士 高田保馬

時事問題

小口落禁止問題……………法學博士 戸田海市

軍需工業動員法ニ就テ……………法學士 櫛田民藏

雜錄

英吉利ノ豫算……………法學士 河田嗣郎

南露ニ於ケル獨逸住民(二完)……………文學士 長壽吉

かあらいるノ「過去及ビ現在」……………文學士 石田憲次

戰費調達問題(一)……………法學士 小島昌太郎

黃宗羲ノ政治經濟思想(一)

小島 祐馬

明ノ遺臣ニシテ節ヲ守ツテ清朝ニ仕ヘズ、其著ハス所ノ書ハ或ハ禁セラレ或ハ焚カレ、或ハ長ク刊行ヲ見合スノ餘儀ナキニ至ツタモノモアレド、而モ清朝一代ヲ通ジテ學問上思想上ノ代表者ト爲リ、偉大ナル影響ヲ後世ニ殘シタル學者ガ三人アル。其レハ『日知錄』ヲ著ハシタ顧炎武ト『噩夢』黃書ヲ書イタ王夫之ト、今一人ハ即チ是ニ其思想ヲ紹介セントスル黃宗羲デアル。宗羲字ハ太沖、南雷ト號シ、學者又梨洲先生ト呼ンデ居タ。浙江省餘姚縣ノ人、明ノ萬曆三十八年八月八日ニ生レ、清ノ康熙三十四年七月三日八十六歳ヲ以テ終ツタ。⁽¹⁾餘姚縣ト云ヘバ彼ノ有名ナル王陽明ノ產地デアルガ、宗羲ノ幼ヨリ師事セル同郷ノ先輩劉念臺ハ、即チ實ニ陽明ノ學術ヲ祖述セル當時ノ大儒デアツタノデアアル。尤陽明學トイフモ劉念臺ノ學ハ彼ノ李卓吾一派ノ如キ禪の悟入ヲ主トスル者ニ非ズ、着實ニ學問思辨ノ功ヲ積マントスル穩健ナル流儀デアツタ。サレバ宗羲モ其師ノ學風ヲ承ケ、當時ノ學者ガ語録ノ糟粕ヲ襲ヒ六經ニ根柢セズ、書ヲ束子テ遊談ニ從事スルノ風ヲ痛ク排斥シタ。常ニ謂フ『凡ソ學ヲ爲スニハ必ず先ヅ經學ヲ窮ムベシ、經學ハ世ヲ經ム

(1) 西曆 1610-1695 A. D.

ル所以、故ニ兼ネテ史學ヲ修メザルベカラズ、史ニ明ニシテ方ニ迂儒ノ學タルヲ免ル」ト。又謂フ『讀書多カラザレバ以テ斯ノ理ノ變化ヲ證スルコトヲ得ズ、而モ多クシテ心ニ求メザレバ俗學ト爲ル』ト。以テ彼レノ學問ニ對スル見解ヲ窺フニ足ル。其後彼レノ門流ニ萬斯同、全祖望、邵晉涵、章學誠ノ如キ有數ノ史學者ノ輩出シタルモ彼レノ史學ヲ輕ンゼザリシ影響ニ外ナラヌノデアル。宗義ハ非常ニ博學ニシテ其著述モ亦甚多イガ(註)、中ニモ彼レノ生命ヲ永久ナラシムル著述トイヘバ恐ラク『明夷待訪錄』一卷ノ外ニハアルマイ。此書ハ宗義ノ政治經濟ニ關スル意見ヲ忠憚ナク吐露シタルモノニシテ即チ彼レノ五十四歳ノ時ノ作デアル。當時顧炎武ハ此書ヲ觀テ『天下未ダ嘗テ人無クンバアラス、百王ノ敝復タ起スベク、三代ノ盛徐ニ還スベシ』ト激賞シタ。其題シテ『明夷待訪錄』ト謂フハ蓋シ後王ノ興ツテ己ノ理想ヲ實行センコトヲ望ムノ意ニ出ダタモノデアラウ。此書清朝ノ末ニ至リ多クノ愛讀者ヲ生ジ、ソレガ遂ニ頹廢セル支那ノ社會ニ一大變革ヲ行フベキ有力ナル刺戟ト爲ツタトシテ知ラレテ居ル。此書ノ内容ハ原君、原臣、原法、置相學校、取士上、取士下、建都、方鎮、田制一、田制二、田制三、兵制一、兵制二、兵制三、財計一、財計二、財計三、胥吏、奄宦上、奄宦下ノ二十一篇ニ分レテ居ルガ、以下少シク其中ニ見ハタル思想ノ主ナルモノヲ紹介セン。

(註) 宗義ノ著書『明夷待訪錄』ノ外今日刊行セラルルモノ『南雷文約』『南雷文定』『南雷文案』(以上ノ三書重複アリ)『南雷詩歷』

『明儒學按』宋元學按『歷代甲子攷』隆武紀年『魯紀年』永歷紀年『贛州失事記』紹武爭立記『舟山與廢記』『日本乞師記』
 『四明山案記』沙州定亂記『瀆政』陽姓始末『鄭成功傳』張立著先生事略『思舊錄』金石要例『今水經』『匡廬游錄』『西臺勸
 獎記注』『冬青樹引注』汰存錄『破邪論』深衣考等アリ。又寫本ニテ傳ハリ或ハ散佚シテ未ダ世ニ出テザルモノ『易學象數論』
 『授書隨筆』春秋日食歷『律呂新義』孟子師說『留書』海外勸獎記等二十餘種アリ。刊行ノ書中直接ニ其政治經濟思想ヲ見
 ルニ足ルモノ『明夷待訪錄』ノ外ニハ『南雷文約』及ビ『破邪論』ニ賦稅科擧ノ二篇ヲ載スルノミテアル。

二

支那ニ於テハ古來天下ニ君タル者ヲ呼ンデ天子ト稱スル。是レハ天ノ元子トイフ意デアツテ、
 卽チ天ノ寵異ヲ蒙リ天意ヲ奉ジテ人民ヲ治ムルモノトスルノデアアル。然ルニ黃宗羲ノ言フ所ニヨ
 レバ此天子トイフ職分ハ本來至極割ノ惡イ仕事ニテ、最犧牲ノ精神ニ富ンダ者デナケレバ務マラ
 ナイ職務デアアルトスルノデアアル。曰ハク『有生ノ初、人各自ラ私シ、人各自ラ利ス。天下公利有
 ルモノヲ興スモノアルコトナク、公害アルモノヲ除クモノアルコトナシ。茲ニ人アリ一己ノ利ヲ
 以テ利ト爲サズ、天下ヲシテ其利ヲ受ケシメ、一己ノ害ヲ以テ害ト爲サズ、天下ヲシテ其害ヲ釋
 カシム。是レ卽チ君主ナリ。サレバ君主ノ勤勞ハ必ズ天下ノ人ニ千萬倍ス。夫レ千萬倍ノ勤勞ヲ
 以テシテ己又其利ヲ享ケズ、必ズ天下ノ人情居ルコトヲ欲セザル所ナリ』ト。君主ノ職務既ニ此
 ノ如キモノナルヲ以テ古人ハ容易ニ之ヲ引受クル者ガ無カツタ。許由務光ハ君主ノ位ヲ讓ラウト
 言ハレテ逃ゲ出シタ。堯舜ハ己ムヲ得ズ引受ケタガ其子孫ニ傳ヘズ他人ニ讓ツタ。禹ハ始メ之ニ

就クヲ欲セザリシモ遂ニ辭スルコトヲ得ザリシ者デアル。此レモ道理デアツテ古ノ人デモ逸ヲ好ミ勞ヲ惡ムトイフ人情ニ變リハ無イカラデアルト謂ツテ居ル。是レガ宗義ノ所謂君主ノ起原デアツテ又君主ノ理想デアル。即チ是レ君主タルモノハ何處迄モ民ヲ本ト爲シ民ノ爲メノ政治ヲ布クナケレバナラヌトイフ事ヲ高調シタモノデアル。

君主ノ理想ハ既ニ此ノ如キモノデアルガ、扱後世ノ君主ハ果シテ斯カル理想ニ合致スルモノナリヤト言フニ、宗義ハ則チ之ヲ否定シテ曰ハク『後ノ人君タルモノハ然ラズ。天下利害ノ權ハ皆己ニ出ヅルト爲シ、天下ノ利ヲ以テ盡ク己ニ歸シ、天下ノ害ヲ以テ盡ク人ニ歸スルモ亦タ不可ナルコト無シト爲シ、天下ノ人ヲシテ自ラ私シ自ラ利スルコトヲセシメズ、自己ノ大私ヲ以テ天下ノ公ト爲シ、天下ヲ祝テ莫大ノ私有財産ト心得、之ヲ子孫ニ傳ヘテ享樂窮リナカラシメントス』ト。即チ後世ノ君主ハ全ク其位置ヲ利用シテ自利ヲ營ムモノニ過ギズト爲シ、現ニ漢ノ高祖ナドハ明ニ天下ヲ以テ自己ノ私有財産ト公言シタ一人デアルト爲シテ居ル。宗義ハ之ニ續イテ更ニ次ノ如キ意味ノコトヲ述ベテ居ル。古ハ天下ヲ以テ主ト爲シ君主ヲ客ト爲シ、スベテ君主ハ天下ノ爲メニ畢世骨ヲ折ツテ經營シタモノデアルガ、今ヤ君主ヲ以テ主ト爲シ天下ヲ客ト爲シ、スベテ天下ノ地君主ノ爲メニ其安寧ヲ妨ゲラルル状態ト爲ツタ。君主一人ノ私産ヲ増シ君主一人ノ淫樂ニ奉ズル爲メニハ、天下ノ肝腦ヲ屠毒シ天下ノ子女ヲ離散シテ、脅テ殘酷ト思ハズ當然ト心得テ

(4) 原君

居ル。然ラバ天下ノ大害ヲ爲スモノ實ニ君主ニ非ズシテ何ゾ。向ニ君主無カラシムルモ人各自ラ私シ自ラ利スルコトヲ得タノニ、今ヤ君主ヲ設ケタガ爲メニ、自ラ私シ自ラ利スルコトヲ得ザルノミカ大害サヘ之ニ加ハルニ至ツタ。豈君主ヲ設クルノ意本來此ノ如キモノデアラウカヤト。⁽⁵⁾是レ後世ノ專制君主制ノ弊竇ニ向ツテ手殿シク攻撃ヲ試ミタモノデアアル。

猶宗羲ハ此ノ如ク天下ヲ私スルコトハ、君主自身ノ爲メニ考ヘテモ結局甚ダ不利益ナコトデアルトイフ事ヲ道破シテ居ル。其大意ハ君主ガ果シテ天下ヲ私有財産ト爲シ、之ヲ永久ニ子孫ニ傳フルコトガ出來ルトスレバ、之ヲ私スルコトモ一應尤ナ道理モアルガ、既ニ私有財産トシテ之ヲ見ル以上、他人ノ其私有財産ヲ得ントスルコト亦君主ニ異ラザルモノデアアル。然ルニ君主一人ノ智力ハ到底天下ノ之ヲ得ントスル者ノ衆キニ勝ツコトハ出來ヌ。サレバ早晚自己又ハ子孫ガ血肉崩潰ノ運命ニ遭遇スルハ明ナコトデアアル。昔ハ世々帝王ノ家ニ生レマイト願ツタ天子モ有ツタ。明ノ亡ブル時天子ガ其公主ニ對シテ、汝ハ何ノ因果デ我家ニ生レタカト謂ツタトイフガ如キ、何ト痛マシキ言デハナイカ。天下ヲ私スル者ノ運命ハ當然斯クアルベキ者デアルトイフノデアアル。⁽⁶⁾

斯クテ宗羲ハ君主ヲ以テ政治上ノ一ノ機關ト爲ス者デアアル。彼レハ『孟子』ニ周制トシテ天下ノ政治ヲナス者ノ階級ヲ述ベタル條ニ『天子一位、公一位、侯一位、伯一位、子男同一位、凡五等君一位、卿一位、大夫一位、上士一位、中士一位、下士一位、凡六等』トアルヲ引キ、之ニ由ツ

(5) 原君

(6) 原君

(7) 『孟子』萬章々句下

テ觀ルニ元來天子ト諸侯トノ位置ニ就イテ言ハバ、天子ト公爵ノ諸侯トノ距離ハ公侯伯子男ノ諸侯相互ノ距離ト同ジク、天子ト廷臣トノ位置ヨリ言ハバ、君ノ卿ヲ去ルコト卿大夫士ノ遞ニ相去ルガ如ク、獨リ天子ノミガ截然トシテ等級ノ外ニ超越シタルモノニ非ズト言ツテ居ル。⁽⁸⁾即チ言ヲ換ヘテ言ハバ天子ハ一ノ統治機關ニシテ唯其最上位ニ位スルモノタルニ過ギズトスルノデアアル。

夫レデハ君主ト人民トノ間ノ道德關係ハ如何トイフニ、宗義ニヨレバ古ハ天下ノ人其君ヲ愛戴シ之ヲ父ニ比シ之ヲ天ニ擬シタ。自己ノ一身ヲ天下萬民ノ爲メニ犧牲トスル理想的ノ君主ニ對シテハ人民ノ斯ク尊敬ヲ拂フコトハ誠ニ當然ノコトデアアル。然ルニ此關係ハ自利ヲノミ營ム專制君主ニハ當テ徹ムルコトガ出來ヌ。世ノ小儒ドモハ規々トシテ君臣ノ義天地ノ間ニ逃ルル所ナシナドト唱ヘ、暴虐桀紂ノ如シト雖湯武之ヲ誅スベカラズト爲シ、或ハ妄リニ伯夷叔齊ノ如キ無稽ノ事實ヲ附會シテ君主ノ神聖ヲ維持セントス。是レ君主ガ自己ノ私欲ヲ充タサンガ爲メニ流セル萬民崩潰ノ血肉ヲ見ルコト夫ノ腐鼠ト擇ブ所ナキモノデアアル。豈天地ノ大ナル、兆人萬姓ノ中ニ於イテ獨リ君主ノ一人一家ニ私スルモノナランヤト言ヒ、無道ノ專制君主ニ對スル放伐ヲ是認シテ居ル。是レハ彼レノ理論カライヘバ當然ノ歸結デアアルガ、固ヨリ彼レハ之レニ由ツテ無君ノ政治ヲ希望スル者デナイコトハ言フ迄モナイ所デアアル。彼レハ充分ニ君主ノ必要ヲ認ムル者ナルモ、民ヲ本トセザル君主ハ君主ノ資格ナキ者トシテ之ヲ取替ヘントスルマデデアアル。

(8) 相君
(9) 原

宗義ハ政治上ノ機關トシテ君主ノ外ニ更ニ臣トイフモノヲ擧ゲテ居ル。臣トハ廣義ニ用フレバ一般人民ヲ指ス語デアルガ、茲デハ狹義ニ用ヒ今日ノ所謂官吏トイフ程ノ意味デアル。彼レハ臣ノ職分ヲ如何ナル者ト爲スカトイフニ君主ヲ助ケテ天下ノ爲メニ政治ヲ爲スモノトスルノデア。曰ハク『夫ノ君タルノ意ヲ原スルニ天下ヲ治ムル所以ナリ。天下一人ニシテ治ムルコト能ハズ、則チ官ヲ設ケテ之ヲ治ム。是レ官ナル者ハ分身ノ君也』⁽¹⁰⁾ト。又曰ハク『天下ノ大ナル一人ノ能ク治ムル所ニ非ズ。而シテ之ヲ分治スルニ群臣ヲ以テス。故ニ我ノ出デテ仕フルヤ天下ノ爲メニシ君ノ爲メニスルニ非ズ、萬民ノ爲メニシ一姓ノ爲メニスルニ非ザル也』⁽¹¹⁾ト。即チ臣ハ天下萬民ヲ以テ見ヲ起シ、其道ニ非ザレバ君主之ヲ強ユルモ敢テ從フベカラズ、身ヲ其朝ニ立ツルモ敢テ聽クベカラザル者デア。固ヨリ天下ノ治亂ハ君主一姓ノ興亡ニ在ラズシテ萬民ノ憂樂ニ在ル。臣タル者此民ノ困苦ヲ輕視スルニ於イテハ、假令能ク君主ヲ輔ケ興シ君主ニ從ツテ亡ブトイフモ、其臣道ニ於イテ取ルニ足ルモノハ無イトシテ居ル。⁽¹²⁾是レガ即チ彼レノ所謂臣道ノ本義デア。然ルニ此臣道モ後世甚味ク、臣ハ君ノ爲メニ設クル者ト爲シ、君主ノ委任ニヨリ君主ノ爲メニ天下ヲ治ムル者ト心得テ居ル、是レガ抑政治ノ墮落スル所以デアルトシ、耳目流俗ノ所謂臣ナルモノニ浸淫スル輩ニ在リテハ到底『臣ト君トハ名異ニシテ實同ジキ者デア』⁽¹³⁾トイフ道理ハ解ルマイト言ツテ居ル。要スルニ臣タルモノハ天下萬民ノ爲メニ、君主ト一體トナリテ善政ヲ布クベキ責

(10) 相

(11) 原臣

(12) 原臣

(13) 原臣

任ヲ有スルモノト爲スノデアル。

彼レハ更ニ進ンデ臣ノ君主ニ對スル關係ハ師友ノ關係デアルトイフコトヲ力説シテ居ル。即チ世間デハ無形ニ視、無聲ニ聽キ、以テ其君ニ事フルモノモアレド、天下萬民ノ爲メニスルコトヲ忘レテ、君主ノ一身ヨリ見ヲ起ス者デアレバ、是レ宦官宮妾ニシテ臣ト謂フベキ者ニ非ズ。夫レ君主ノ宦官宮妾アルハ奴婢デアル。其臣アルハ師友デアル。奴婢ニ求ムル所ハ使令デアツテ、師友ニ求ムル所ハ道德デアル。サレバ奴婢ハ君主ノ喜怒ヲ伺フヲ以テ賢ト爲シ、師友ニアツテハ容悅ト爲ス。師友ハ君主ノ過失ヲ規スヲ以テ賢ト爲シ、奴婢ニアツテハ悖逆ト爲ル。天下ノ人君タルモノ臣ヲ禮遇スルノ道ヲ知ラズ、奴婢ノ道ヲ以テ人臣ノ道ト心得、能ク己ニ事フル者ヲ賢トシ、能ク己ニ事ヘザル者ヲ否トシ、只管奔走服役ノ人ヲ得ント欲スル。天下ノ人臣タル者モ君主ノ賢トスル所否トスル所是ニ在ルヲ見テ、亦遂ニ其師友ノ道ヲ舍テテ奔走服役、復タ其禮ノ備ハルト備ハラザルトヲ問ハズ、一時饑寒ヲ免レテ遂ニ其知遇ニ感ジ、僕妾ノ間ニ加ヘラレテ當然ト爲スニ至リ、遂ニ後世ノ君驕リ臣諂フノ風ヲ馴致シタモノデアルト言ツテ居ル。⁽¹⁴⁾蓋古君主ニ師傳ヲ置クノ意ヲ廣メ其關係ヲ凡ベテノ廷臣ニ應用セントスル者デアル。嚮ニ臣ト君トハ同一體ナルコトヲ説キ、今臣ノ君ニ於ケル師友ノ關係デアルトイフノハ、一見矛盾セルガ如キ觀アルモ、想フニ是レ前者ハ形式上ヨリ觀テ、君臣共ニ同一目的ノ爲メニ設ケラレタル統治ノ機關ナルコトヲ闡明

(14) 原臣、奄臣上

セントシ、後者ハ實質上ヨリ觀テ、實際政治ヲ運用スルニ當ツテハ君主ハ賢者タル臣ノ意見ヲ尊重スル所無カルベカラザルヲ儆戒セントスルモノト見ルベキデアラウ。

彼レハ猶明代ニ宰相ノ職ヲ廢シタルヲ論シテ『古ハ天子其位ヲ子ニ傳ヘズシテ賢ニ傳フ。其天子ノ位ヲ視ルコト猶夫ノ宰相ノゴトシ、其後天子ハ子ニ傳フルコトトナリシモ宰相ハ子ニ傳ヘズ天子ノ子必シモ皆賢ナラズ、然レドモ尙幸ニ宰相ノ賢ニ傳フルニヨリ相補救スルコトヲ得テ、天子亦賢ニ傳フルノ意ヲ失ハズ。宰相既ニ廢セラレテ、天子ノ子一タビ賢ナラザレバ更ニ與ニ賢ヲ爲ス者ナシ。亦子ニ傳フルノ意ヲモ弁セテ失フ者ニ非ズヤ』⁽¹⁵⁾ト言ヒ、宰相ヲ廢シタルガ爲メニ政治ノ實權宮奴ニ移リ、遂ニ其主ヲ摩切スル機關ナクシテ、讒諂面諛ノ人大權ヲ動カスニ至ツタノヲ慨歎シテ居ル。是レ君主ノ位世襲トナリ時ニ凡庸ノ君主ノ出ヅルコトヲ免レザル制度ノ下ニ在リテハ、特ニ師友トスベキ賢臣ヲ要スルコト最痛切ナルモノアルコトヲ同時ニ示シタモノト見ルコトガ出來ル。

以上宗義ノ言フ所ヲ要約スレバ、政治ハ或特定人ノ爲メノ政治ニ非ズシテ天下萬民ノ爲メノ政治デナクテハナラヌ、而シテ君主トイヒ群臣トイフモノ、共ニ此目的ヲ遂行スル爲メニ設ケラレタル機關ニ過ギザレバ、各自私自利ノ念ヲ一掃シ、天下萬民ノ爲メニ犠牲トナルノ精神ヲ以テ、互ニ協力シテ行動セ子バナラヌトスルノデアアル。(未完)

(15) 宰相